

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

建屋内滞留水水位及び貯蔵量

- ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
- ・処理装置(第二セシウム吸着装置)は運転中
- 1~4号機タンク貯蔵量
- ・淡水化装置による処理により、RO処理水(淡水)及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
- ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- 5,6号機滞留水貯蔵量
- ・構内散水によりFエリアタンク貯蔵量は変動あり
- 廃棄物発生量
- ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約6,230m ³	TP.443(OP.1,900)
2号機	約12,920m ³	TP.901(OP.2,353)
3号機	約13,160m ³	TP.823(OP.2,260)
4号機	約14,150m ³	TP.934(OP.2,373)
合計	約46,460m ³	

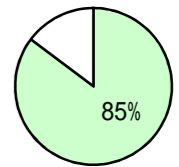
貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約8,470m ³	TP.659(OP.2,021)
高温焼却炉建屋	約3,270m ³	TP.459(OP.1,905)
合計	約11,740m ³	

(合計):+1740[m3/4週](合計):+890[m3/週]

施設	貯蔵量	貯蔵容量
廃液供給タンク	754m ³	1,200m ³
SPT(B)	1,452m ³	3,100m ³
合計	+156[m3/4週]	+434[m3/週]

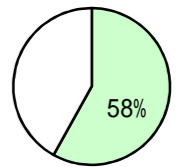
廃棄物発生量

廃スラッジ



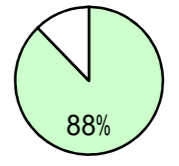
保管量:597/700[m3] 3

使用済ベッセル



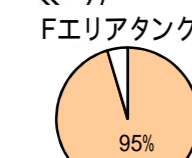
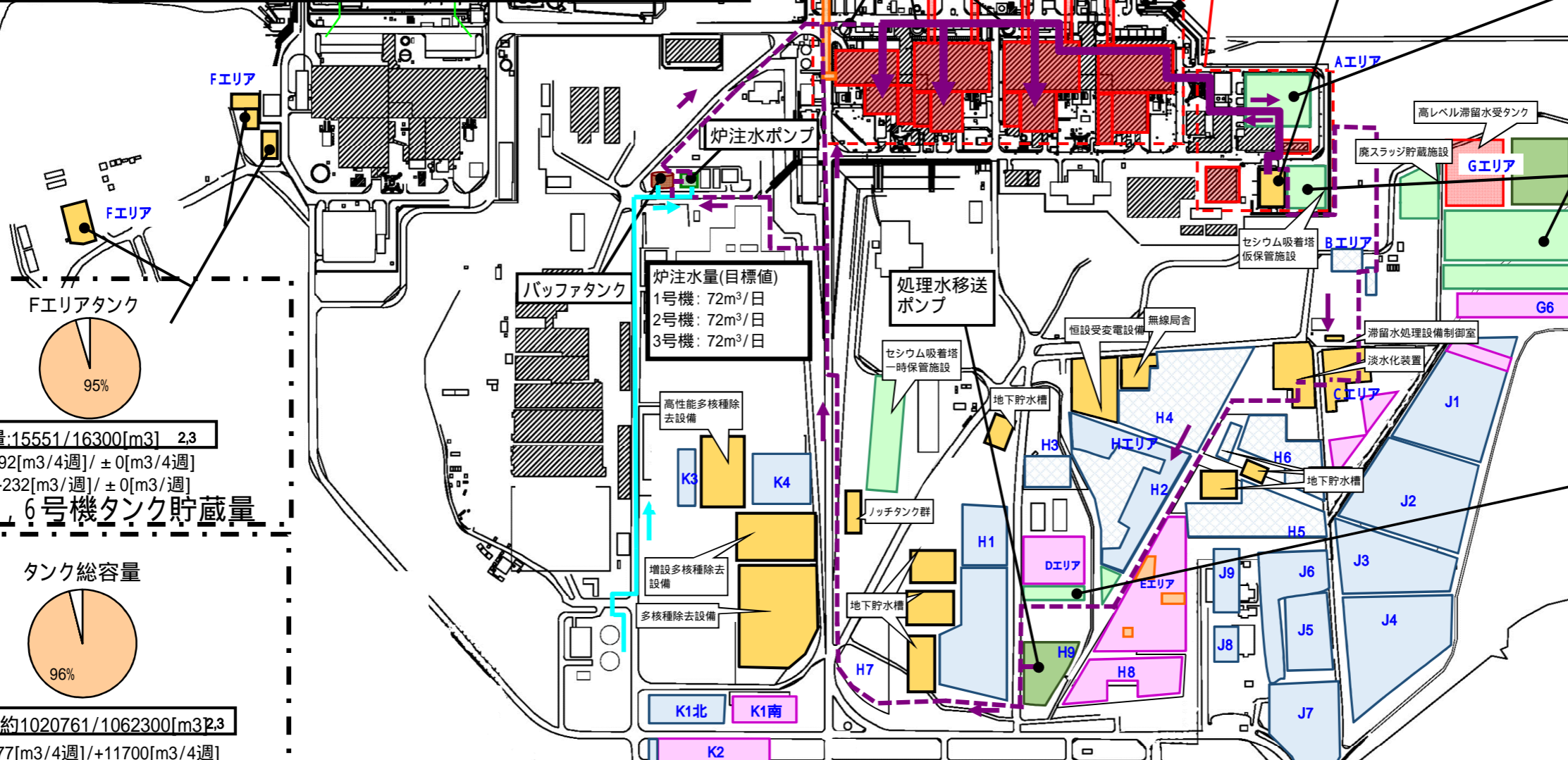
保管量:3700/6368体 1

濃縮廃液

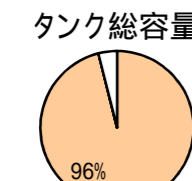


保管量:約9390/10700[m3] 3
水位計0%以上の保管量:9290[m3]
タンク底部~水位計0%の保管量(DS):約100[m3]

- a RO処理水(淡水)
- b 濃縮塩水(残水)
- c 処理水(多核種除去設備等処理水)
- d Sr処理水等
- タンク解体・建設中エリア
- 水処理二次廃棄物(既設)
- 水処理二次廃棄物(追設予定)
- 循環注水ルート(実線:主に使用するルート)
- ろ過注水ルート

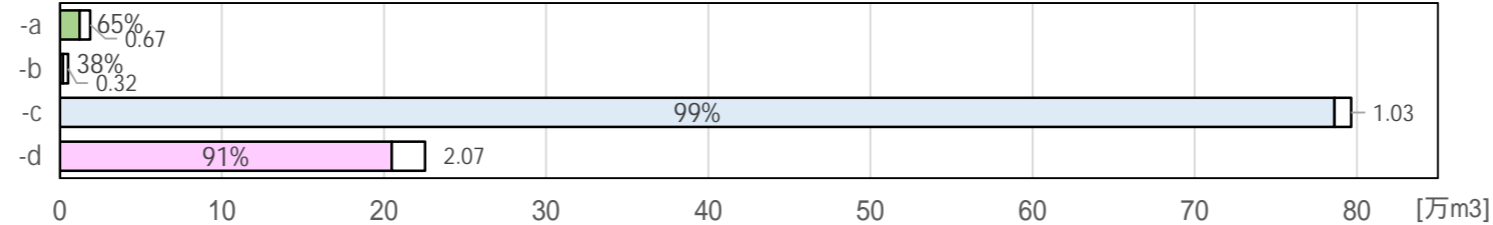


水量:15551/16300[m3] 2,3
+192[m3/4週]/±0[m3/4週]
+232[m3/週]/±0[m3/週]
5,6号機タンク貯蔵量



水量:約1020761/1062300[m3] 2,3
+8377[m3/4週]/+11700[m3/4週]
+2068[m3/週]/±0[m3/週]

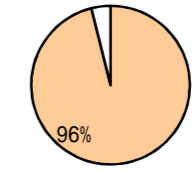
タンク貯蔵量合計(+)



種類	水量:約12248/18900[m3] 2,3	水量:約2000/5200[m3] 2,3	水量:約786216/796500[m3] 2,3,4,6	水量:約204746/225400[m3] 2,3	水量:約1005210/1046000[m3] 3,4
水位計0%以上の水量	11348[m3]	約1600[m3]	784716[m3]	200446[m3]	998110[m3]
タンク底部~水位計0%の水量(DS)	約900[m3]	約400[m3]	約1500[m3]	約4300[m3]	約7100[m3]
変動	-1670[m3/4週]/±0[m3/4週] -378[m3/週]/±0[m3/週]	±0[m3/4週]/±0[m3/4週] ±0[m3/週]/±0[m3/週]	+12063[m3/4週]/+11700[m3/4週] +3307[m3/週]/±0[m3/週]	-2208[m3/4週]/±0[m3/4週] -1093[m3/週]/±0[m3/週]	+8185[m3/4週]/+11700[m3/4週] +1836[m3/週]/±0[m3/週]
名称	-a RO処理水(淡水)	-b 濃縮塩水(残水)	-c 処理水 (多核種除去設備等処理水)	-d Sr処理水等	

1~4号機タンク貯蔵量

1~4号機タンク総容量



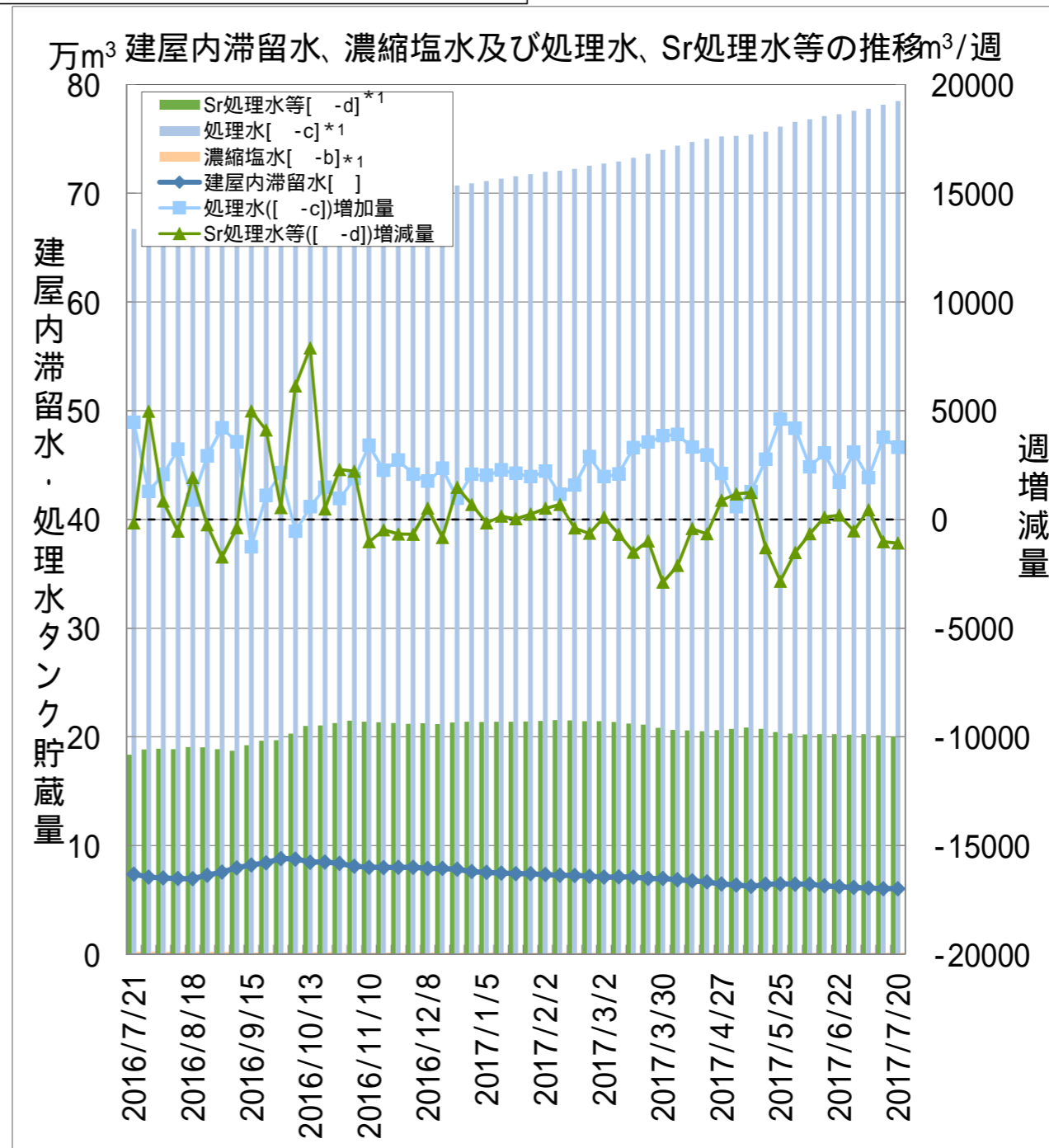
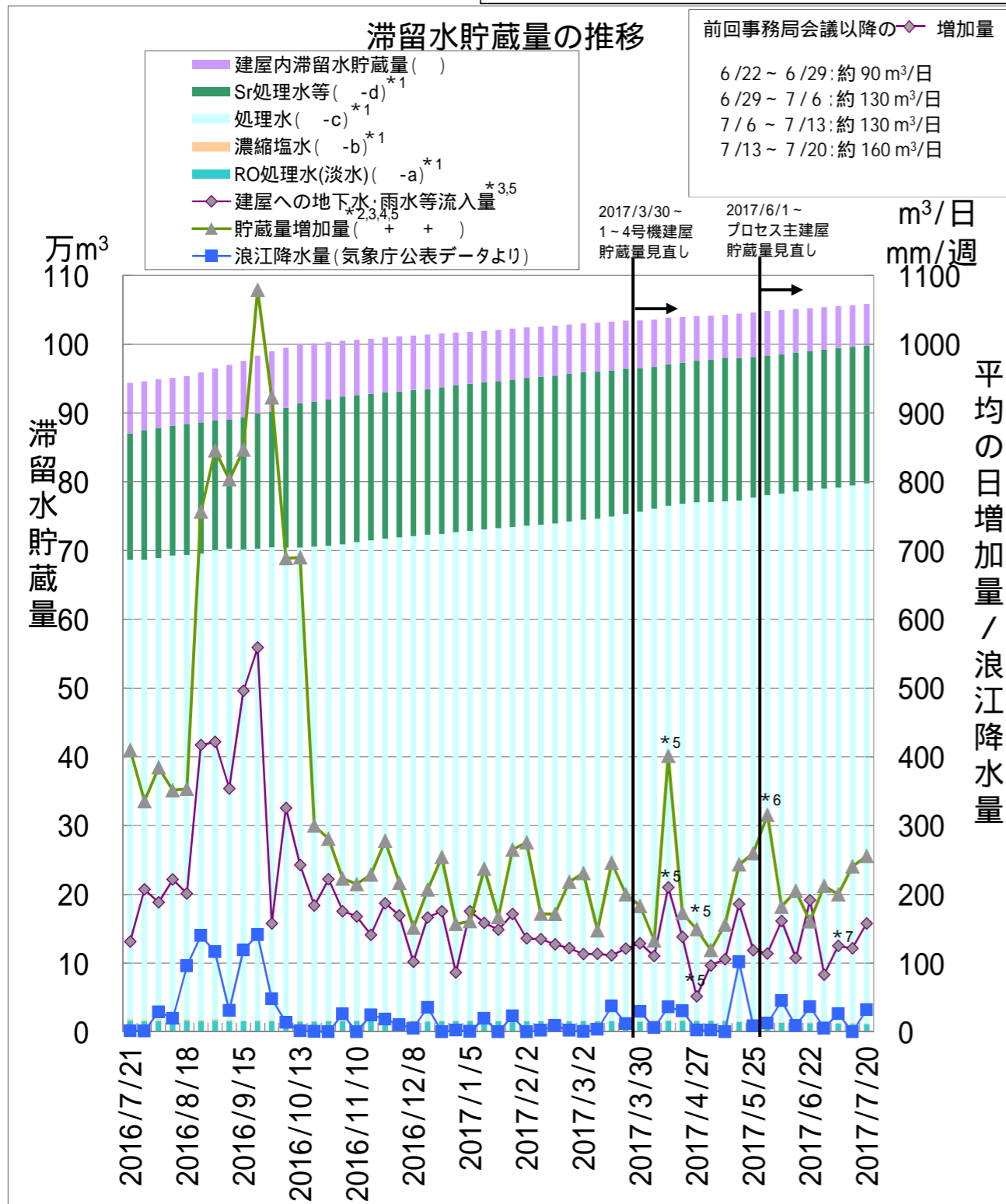
水量:約1065616[m3] 5
+6361[m3/4週]
+1790[m3/週]

建屋内貯蔵量
+
1~4号機タンク貯蔵量
(+)

タンク堰内水の一時的貯留量(*7月24日時点の値を記載)
・ナッチタンク群 約100(±0[m3])/約600[m3]

- 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む
- 装置稼働中につき水位が静定しないため参考扱い
- 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)
- 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵
- ウェルポイント・地下水ドレン(約150m³/週)、建屋へのその他移送量(約80m³/週)の合計約230m³/週を含む(端数処理上、各移送量の総和と異なる場合がある)
- 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む

滞留水の貯蔵状況の推移



：建屋内滞留水貯蔵量 (1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))

：1~4号機タンク貯蔵量

([-aRO処理水(淡水)] + [-b濃縮塩水] + [-c処理水] + [-dSr処理水等])

：タンク底部から水位計0%までの水量 (DS)

*1: 水位計0%以上の水量

*2: 2017/1/19 濃縮塩水の残水量再評価により水量見直しを行ったため補正

*3: 「建屋への地下水・雨水等流入量」、「貯蔵量増加量」の評価に用いている「建屋保有水増減量」は建屋水位計から算出しており、下記評価期間において建屋水位計の校正を実施したため、当該期間の「建屋への地下水・雨水等流入量」、「貯蔵量増加量」は想定される値より少なく評価されている。(2016/9/22~9/29:3号機タービン建屋)

*4: 気温変化に伴うタンク貯蔵量の変動の影響を含む

*5: 集中RW建屋の貯蔵量算出に必要な水位に応じた断面積(評価値)の不確かさによるものと推定。2017/6/1の集計値以降、集中RW建屋の貯蔵量算出に必要な水位に応じた断面積(評価値)を見直し

*6: 雨水処理設備で処理できない雨水のSr処理水タンクへの移送量(2017/5/25~6/1:700m³/週)を含む。

*7: 2017/7/5に実施した調査結果から、1号機T/B未調査エリアの水量が想定水量よりも少ないことが判明したため補正

処理水	累積処理水	期間処理水		定格処理量
	[m3]	[m3/週]	[m3/日] ^{注1)}	[m3/日]
既設多核種除去設備 ^{注2)}	359,468	1,353	193	750以上
増設多核種除去設備 ^{注2)}	354,733	1,954	279	750以上
高性能多核種除去設備	102,556	0	0	500以上
高性能 検証試験装置	1,128	0	0	50
Sr処理水等	期間処理水		定格処理量	
	[m3/週]	[m3/日] ^{注1)}	[m3/日]	
セシウム吸着装置	1,427	204	600	
第二セシウム吸着装置			1200	

注1) 週間の平均値
注2) 既設・増設多核種除去設備処理水の一部は、残水があるRO濃縮塩水タンクに移送し、Sr処理水等として貯蔵